

## 様式

技術名称	パフェグラウト工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	関東地整へ申請中
会社名等	日特建設株式会社	担当者	阿部 智彦	連絡先	03-3542-9298
技術の概要	本技術は可塑性を有するオリジナルのグラウト材(パフェグラウト)を用いた空洞・空隙充填工法である。従来の可塑性グラウト材は、低強度で配合設計の自由度も低く、トンネルの裏込め充填などの狭い用途に限られていた。本技術は、高強度の配合を備え、配合設計の自由度が高く、従来技術に比較し、広い用途で適用可能である。	添付資料	パンフの有無 その他の資料	有 技術資料、積算資料 施工事例集	
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パフェグラウトは水中不分離性を有する材料であり、低強度(1.5N/mm<sup>2</sup>)から高強度(24N/mm<sup>2</sup>以上)の配合を備え、強度、流動性を自由に調整できる。従来技術は基本的に低強度であり、また流動性等を調整することは難しい。</li> <li>・本技術は注入配管内で各材料を攪拌、混合する「インライン・ミキシング方式」を採用し、各材料の流量の制御をコンピュータによって行うことで、均一で高品質な充填補強を可能とした。従来技術では、手動制御のため、品質にばらつきが生じていた。</li> <li>・長距離圧送可能(1000m以上)な配合を有し、注入箇所近傍にプラント設置スペースが無い場合でも、2系統のホースもしくは配管を布設することで施工可能となる。</li> <li>・水中不分離性を有することから、岸壁、護岸等の背面空洞充填など、特に水際での施工に効果が高い。また高強度を必要とする構造物の補修も可能である。</li> </ul>	その他	活用に当たっての留意点 ・パフェグラウトの標準的な配合は、静水中で希釈されない程度の水中不分離性を有している。別途配合設計を行うことで、水中不分離性をさらに高めることも可能であり、そうすることで、流水の中での施工も可能となる。		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。